

# ワールド架け橋事業協同組合



## 津南・十日町の農家が地元産品を共同販売し、 持続的な経営基盤を構築する！

今後取り組む予定のスマート農業とは？

ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化・精密化や高品質化を実現する等を推進している新たな農業のことです。

### 設立の経緯

津南町と十日町市は、米を中心にアスパラガスやスイートコーンなどが特産品として知られ、農業者が非常に多い地域です。しかし、他地域同様に高齢化や人材不足に悩む農業者も多く、地域経済を持続的に発展させていくためには、経営基盤の強化と雇用の確保といった課題に対して共同で向き合わなければなりません。

そこで、津南町と十日町市の農業者が集まり、主に農産品の共同販売を通じて販路拡大を図ることを目的に組合を設立しました。

### 事業内容

組合員の生産する米穀や野菜等を共同で販売することで販路拡大を図るとともに、教育情報事業として研修会や日々の情報提供を通じて有機栽培米又は特別栽培米の栽培技術の向上、スマート農業の促進に取り組みます。

また、外国人技能実習生受入事業を行い我が国で開発され培われた技能・技術等の開発途上国等への移転を図ることで、開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に寄与し、さらには組合員企業の労働環境の改善、福利厚生への拡充に取り組み、人材の確保・定着、牽いては経営基盤の強化を図ります。